

ため池の基本知識

ため池とは？

農業用水を確保するために水を貯え取水できるようにした人工的に造られた池です。必要な時に水田に水を供給します。



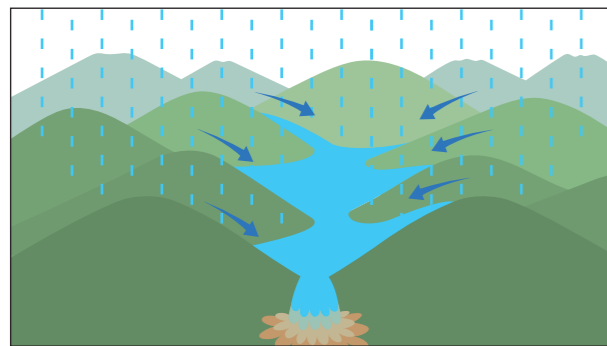
ため池の多面的機能

ため池は農業用水の供給のほかにも様々な機能があります。



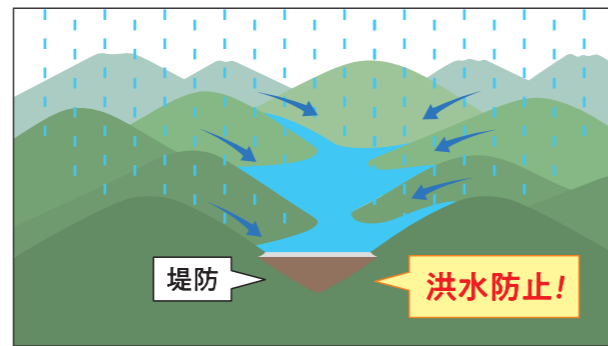
ため池の防災機能

前述の『洪水調節』及び『土砂流出防止』は、ため池が保有する防災機能として大変重要な役割を果たします。



ため池がない場合

豪雨の際、上流域から下流域に向かって雨水が集まり洪水が発生 ⇒ **危険×**



ため池がある場合

上流域からの流入水を一時的に貯え、貯留した水を少しずつ放流して下流域への流出量を減少させる ⇒ **洪水発生防止に有効◎**

農作物の生産および防災の観点から、ため池は重要かつ必要な施設です！

須恵町ではため池の劣化診断調査を行うとともに大雨が予想されるときなどは事前にため池の水位を下げるように管理し、洪水調節の機能が最大限発揮されるようにしています。

ため池の決壊

ため池は防災上重要な施設ですが、近年の想定外の大雨や大規模な地震の発生などにより、ため池の決壊による被害が全国各地で発生しています。



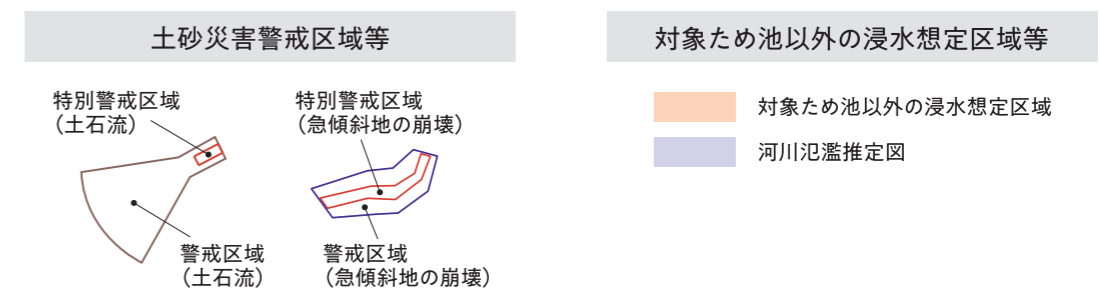
大雨 大雨によりため池の水位が上昇すると堤防に水が浸透して漏水が発生したり、あふれ出た水の勢いで堤防が浸食され決壊に至る恐れがあります。

地震 地震の揺れにより堤防が異常な力を受け、亀裂や漏水が発生したり、地盤の液状化により堤防が変形することで決壊に至る恐れがあります。

ため池ハザードマップの作成

ため池の決壊による人的被害を少しでも減らすため、決壊した際に人家などに大きな影響を与える恐れのあるため池について、事前防災の基礎資料としてため池ハザードマップを作成しました。マップ内には避難時危険箇所として土砂災害警戒区域等をあわせて表示しています。日頃から危険箇所を確認して、いざというときには迅速に避難ができるよう心がけて下さい。

ため池ハザードマップに表示している避難時危険箇所



ただし、ハザードマップが作成されたため池が直ちに危険ということではありません！